

消費マインドの低下や先行き不安感の拡大 国内景気は当分回復の見込みはない

- ★ 「国内景気が回復するのはいつ頃か？」について、約4割の95社(39.9%)が「当分回復の見込みはない」と考えている。「2~3年後」と回答したのが64社(26.9%)。大きく離れて「来年前半」と「来年後半」がそれぞれ同数の30社(12.6%)
- ★ 「当面の経営上の問題点(複数回答)」について、1位が「需要の停滞」の189社。2位が「取引条件の悪化」の64社。「ニーズの変化への対応」が56社で3位。
- ★ 「今後の景気を左右する要因」について、最も多かったのが「個人消費の動向」と「アメリカ経済の動向」で共に67社(28.4%)。続いて、「国内政治の動向」、「公共工事の動向」。

平成20年 **10~12月期** 三次商工会議所管内(旧三次市) 景況調査【概要】

三次商工会議所

平成21年1月に実施した第75回三次商工会議所管内(旧三次市)景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内(旧三次市)の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が75回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は243社(小売業73社、卸売業32社、製造業40社、建設業49社、運輸・交通業17社、観光・サービス業32社)で回収率は48.6%。

【概況】

今期(10~12月)の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲52.9と、3ヶ月前の前回調査▲49.1から3.8ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の2.1%、「やや好転」が10.8%で、逆に「やや悪化」が40.4%、「かなり悪化」が25.4%だった。同様に、売上DIも4.1ポイント悪化して▲47.9。また、過去2年の同時期と比べてみると、平成19年の業況DIが▲23.1で売上DIが▲16.0。平成18年に至っては、業況DIが▲9.2で売上DIが▲7.2と、一年間の中で10~12月期は、季節的な要因や年末特需などもあり、最も業況・売上DIのマイナス幅が少ない時期であるにも関わらず、前期以上の厳しい結果となった。ちなみに、10~12月期が7~9月期より悪化したのは平成9年以来11年ぶり。採算DIは、ほぼ横ばいの▲57.6。原材料(商品)仕入価格は原油価格等の下落もあり、61.5から24.0に低下。その結果、常に経営上の問題点のベスト3に入っていた「原材料仕入価格の上昇」が3年半ぶりに圏外へ。

今回事業所に聞いた「国内景気が回復する時期」について、一番多かったのが、「当分回復の見込みはない」で約4割の95社(39.9%)。続いて、2番目が「2~3年後」の64社(26.9%)と、7割近くが景気回復には相当な時間を要するのではないかと考えている。

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI	(好転割合) - (悪化割合)
売上DI	(増加割合) - (減少割合)
採算DI	(好転割合) - (悪化割合)

業況は、全業種合計で今期▲52.9。業種別では、製造業と卸売業が共に▲62.5と最も厳しい。さらに、来期見通しに至っては、全業種合計で▲71.3とさらに厳しさを増す可能性が高い。

売上は、全業種合計で今期▲47.9。業種別では、観光・サービス業を除く5業種でマイナス幅が悪化した。特に、製造業(▲33.3→▲55.0)と卸売業(▲29.2→▲53.1)ではマイナス幅が20ポイント以上拡大し、急激な悪化となった。

原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期24.0。業種別では、すべての業種で低下。特に、数は少ないものの運輸・交通業が▲50.0から0.0と原油価格等の下落が大きく影響をしているように思われる。

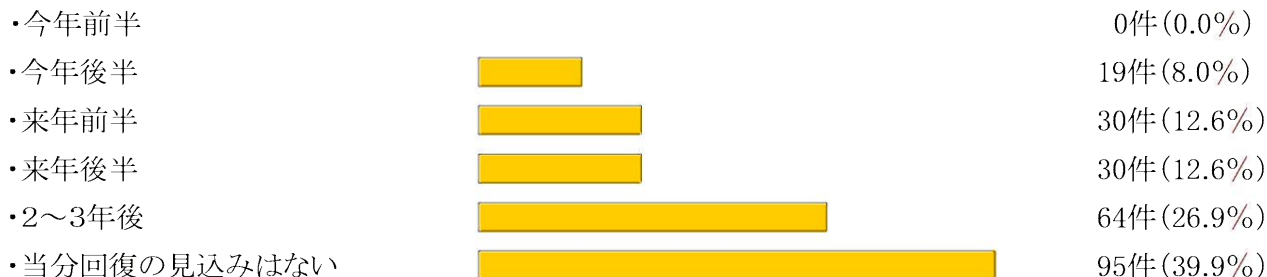
採算は、全業種合計で今期▲57.9。業種別では、卸売業、製造業、建設業、運輸・交通業の4業種でマイナス幅が悪化した。そのうち、製造業(▲60.0)、建設業(▲68.1)、運輸・交通業(▲62.5)の3業種でマイナス60台と特に厳しい。

【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)

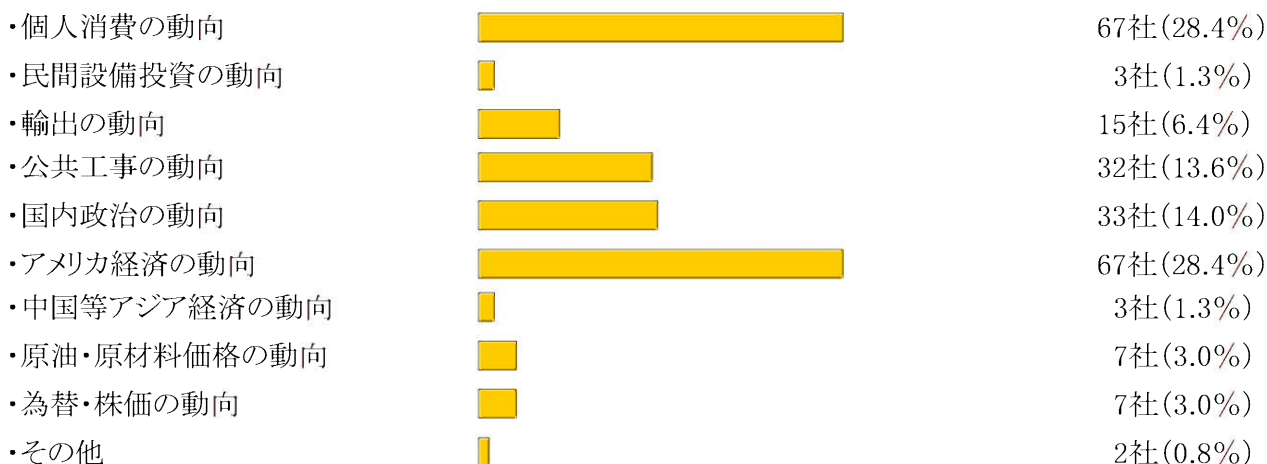
189件



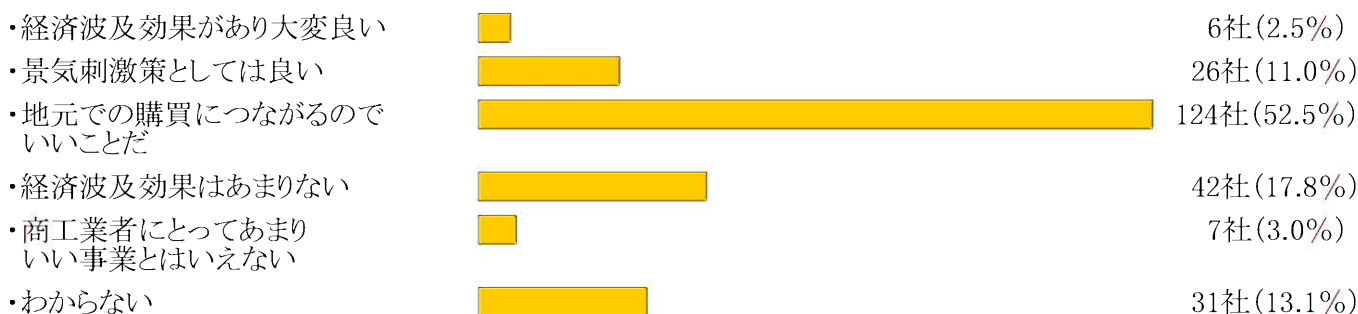
【国内景気が回復するのはいつ頃とお考えですか？】



【今後の景気を左右する要因は何だとお考えですか？】



【12月に緊急経済対策として発行したプレミアム付商品券「三次藩札」について、消費者の立場としてお答え下さい】



【業況DI】

	前期に 比べて	来期の 見通し
全業種	▲ 52.9	▲ 71.3
小売業	▲ 52.1	▲ 74.0
卸売業	▲ 62.5	▲ 83.3
製造業	▲ 62.5	▲ 65.0
建設業	▲ 56.3	▲ 72.3
運輸・交通	▲ 41.2	▲ 58.8
サービス業	▲ 33.3	▲ 66.7

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に 比べて	来期の 見通し
全業種	▲ 47.9	▲ 66.2
小売業	▲ 47.9	▲ 72.9
卸売業	▲ 53.1	▲ 73.3
製造業	▲ 55.0	▲ 56.4
建設業	▲ 52.1	▲ 65.2
運輸・交通	▲ 43.8	▲ 60.0
サービス業	▲ 29.0	▲ 61.3

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

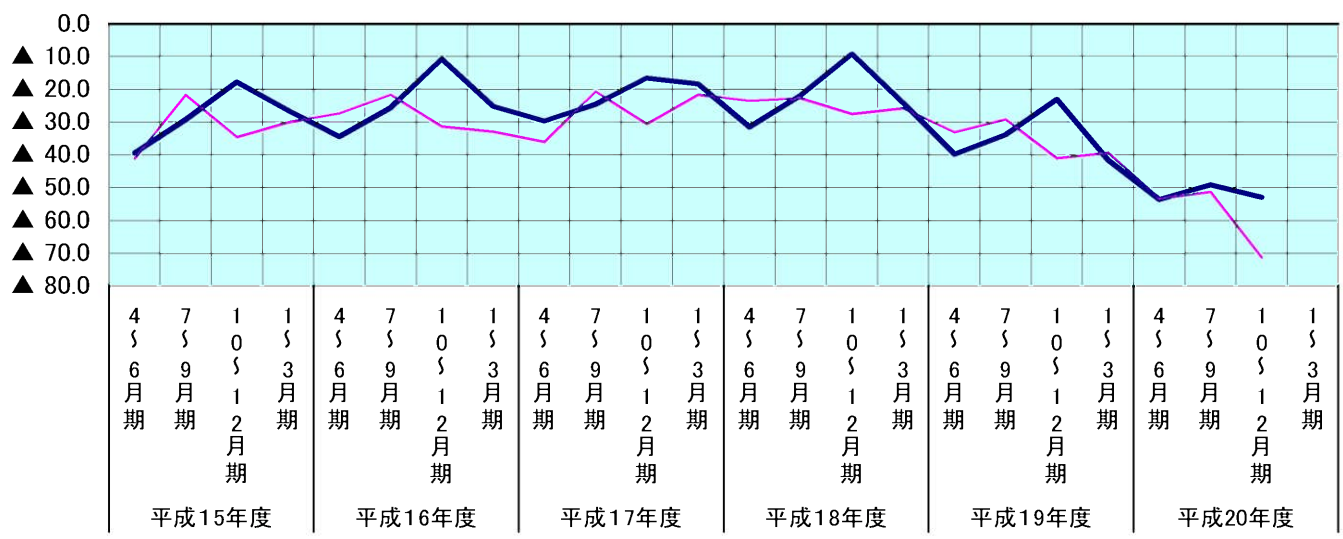
	前期に 比べて	来期の 見通し
全業種	▲ 57.6	▲ 71.9
小売業	▲ 50.0	▲ 67.6
卸売業	▲ 59.4	▲ 83.3
製造業	▲ 60.0	▲ 59.0
建設業	▲ 68.1	▲ 78.3
運輸・交通	▲ 62.5	▲ 50.0
サービス業	▲ 51.6	▲ 87.1

(好転割合－悪化割合)

全業種

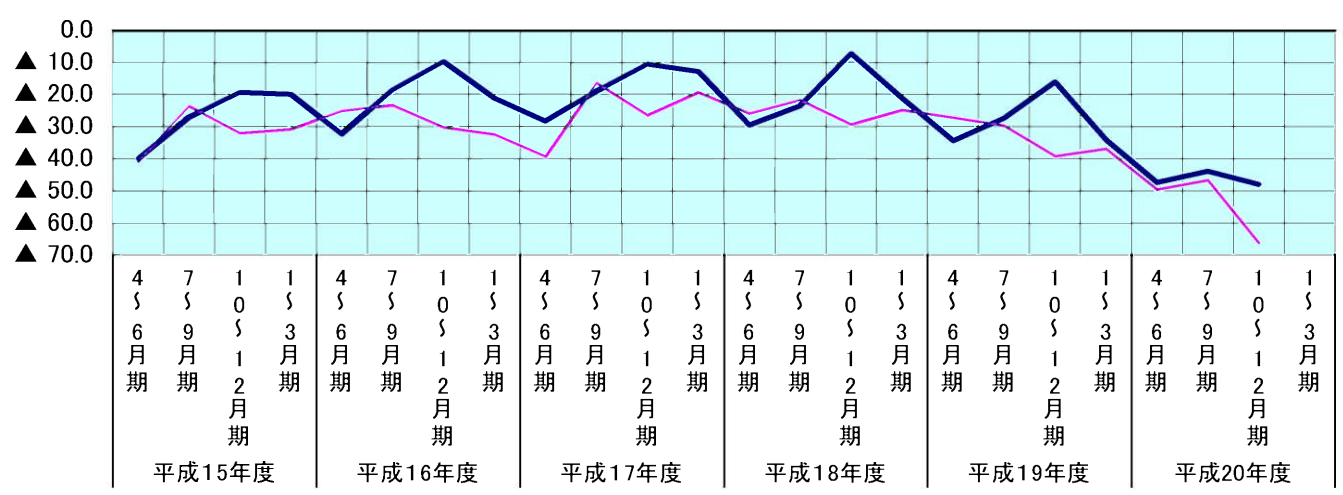
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



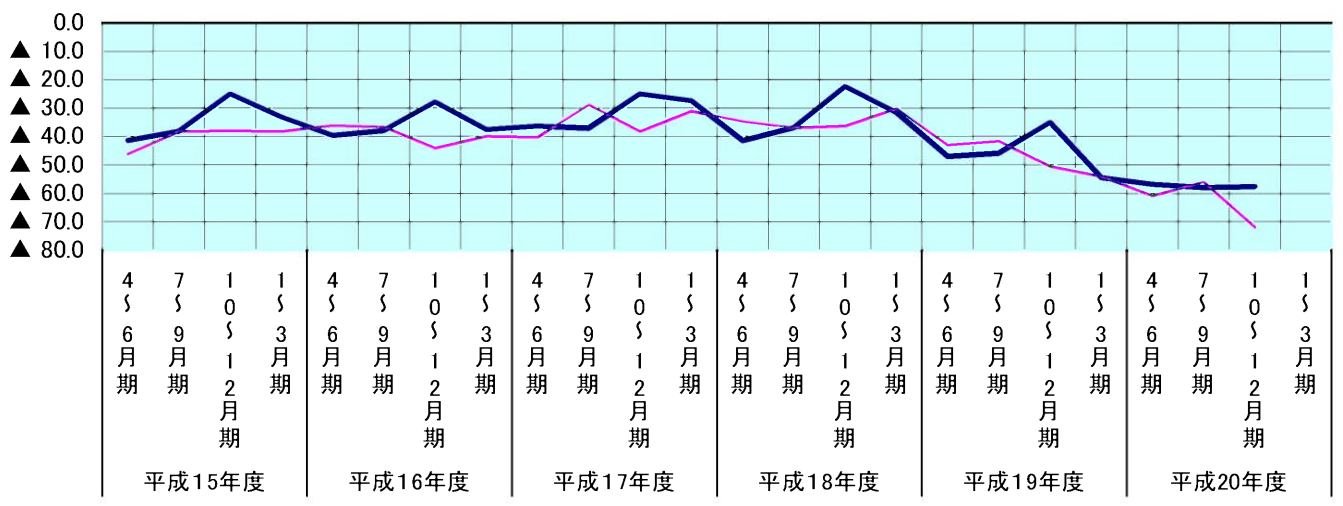
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し












採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
卸 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
建 設 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
運 輸・交 通 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			

景気天気図の説明

